

こんにちは



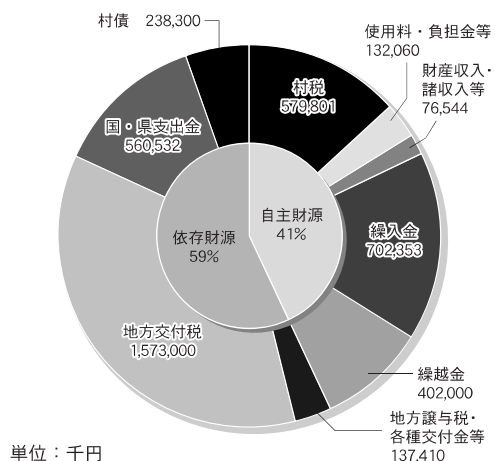
第 65 号
3月定例会
平成26年4月18日

豊丘村議会 です

注目のクラス発表
中学校入学式

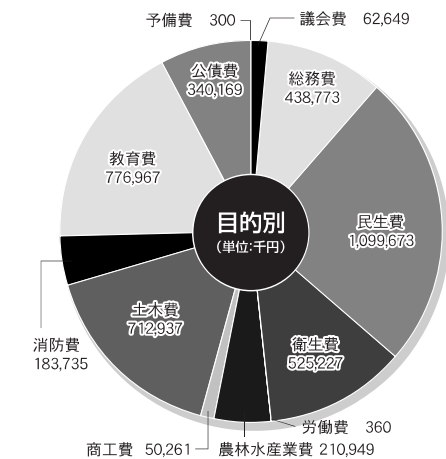
3月定例会の様子	1~4
予算委員会の質疑から	5~7
9人が一般質問	8~17
委員会の報告	18~20
視察研修の報告	21~22
みんなのページ	23

歳入総額 44億200万円



一般会計予算の内訳

歳出総額 44億200万円



歳入

基金(貯金)取り崩しに 7億円余

村税は、前年比1.7%増の5億7980万円(村民税2億5567万円、固定資産税2億7393万円他)、歳入の35.7%を占める地方交付税は3.5%増の15億7300万円を見込みました。

借金となる村債は、2.1%減の2億3830万円ですが、後年度で元利償還金の全額が地方交付税措置となる臨時財政対策債が半分以上の1億2700万円、他の村債は20～80%交付税措置されるものです。

また、大型事業の財源に充てるため各種基金から、7億235万円を取り崩します。

歲出

住宅分譲地など 建設事業に手厚く配分

目的別の内訳は円グラフに示したとおりですが、性質別にみると、普通建設事業費が14億8350万円（33.7%）と昨年に続いて最も多くなっています。

次いで、物件費が6億3568万円(14.4%)、人件費が5億5216万円(12.5%)、となっています。

用語解説

目的別歳出と性質別歳出とは

目的別歳出とは、行政分野別に歳出を分けており、議会費、民生費、土木費、教育費等に分類される。

一方、性質別歳出は、経済的性質を基準として、人件費、物件費、扶助費、補助費、普通建設事業費等に分類される。

26年第1回定例会

学校給食センター改築に4億2千万円

一般会計44億2百万円と昨年度に次ぐ大型予算

26年度当初予算

平成26年第1回定例会は、3月4日から25までの22日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案15件、予算案14件、一般案件11件、発議6件、陳情5件が上程され、発議1件を除く案件が可決、採択されました。

否決された発議は、議員報酬に関する条例改正です。25年4月1日より26年3月31日までの1年間、期限を定めた附則で報酬の5%減額を、26年4月1日より1年間継続しようとするものです。この発議は賛成少数（2名）で否決されました。

一般質問では、9人の議員が健康づくり、社会教育、産業振興等村政全般の課題について質問しました。

26年度当初予算

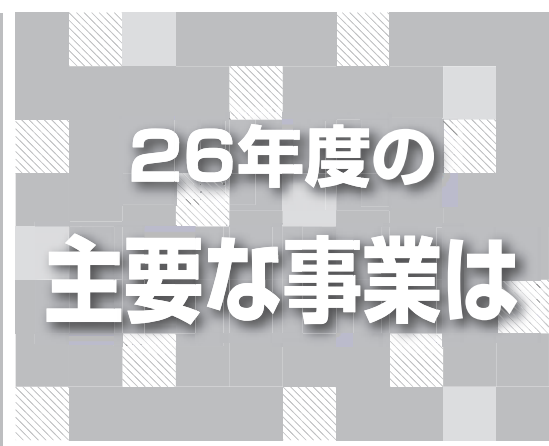
一般会計の予算総額は、44億200万円と前年度に次ぐ大型予算となりました。

これは、学校給食センター改築、村営住宅及び住宅分譲地の建設、交流学習センターの周辺整備、村道佐原線の改良工事、北部共同火葬場建設工事負担金等の大型事業が実施されるためです。これらの事業で約10億4千万となります。

各特別会計の予算は下表のとおりですが、簡易水道特別会計の大巾減は、長沢・堀越簡水の給配水管布設替えの大型事業が終了したことによるものです。

26年度各会計の予算は

会 計 の 区 分		予 算 額	対 前 年 度 増 減 額	対 前 年 度 増 減 率
一 般 会 計		44億200万円	▲4億4,200万円	▲9.1%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	5億6,491万円	532万円	1.0%
	後 期 高 齢 者 医 療	6,913万円	467万円	7.2%
	介 護 保 険	7億9,242万円	2,111万円	2.7%
	簡 易 水 道	1億5,400万円	▲7,900万円	▲33.9%
	下 水 道 事 業	3億2,700万円	▲2,100万円	▲6.0%
合 計		63億946万円	▲5億1,090万円	▲7.5%



学校給食センターを建設します

4億2400万円

南小学校に併設されている現給食センターは老朽化が進み、衛生面からも問題があり早期の建て替えが求められていました。
25年度地域の元気づくり交付金の基金と、公共施設整備基金からの繰入金を主な財源と

します。
建設場所は旧体育館跡地です。

◎村営住宅建設と宅地分譲に取り組みます
2億2500万円

ここ数年は村営住宅（子育て世代向け戸建賃貸住宅）中心でしたが、26年度は宅地造成との

◎商工会館改築を支援します
1450万円

商工会館の北側部分は、老朽化により耐震診断の結果「倒壊する可能性が高い」と判定されました。

そのため今年度この部分の改築を実施することとなり、約50%の補助を行います。

◎商品券を発行し、商業を活性化します
55万円

村内商店・事業所のみで利用できる商品券を発行します。これまで村が、現金給付していた助成金、謝礼等の中で可能なものを商品券の交付にしていきました。

また、村民・区・自治会などでも商品券の活用を図っていたが、村内業者の支援に結びつけることを目的としており特典はありません。商品券のネーミングは、公募の予定です。

◎リニア工事による水枯れ対策のため、水文調査を継続します
396万円

リニア中央新幹線建設のトンネル工事による水枯れが予測されることから、村は25年度において水文調査（表流水及び地下水）を補正予算で対応しました。（実施箇所の選定）

今年度は選定箇所における具体的な水量、水位の調査を実施します。

◎簡易水道の上水道化への準備を進めます
3千万円

村内3簡易水道事業を3年後に上水道事業へ移行するため、今年度は水道資産調査と台帳整備を行います。



2本柱で定住対策に取り組めます。
村営住宅は、県住宅供給公社が建設し村が買取る方式で、地蔵道5戸です。
宅地造成は北垣外と地蔵道で計11戸分を予定しています。
◎河野児童クラブを新築します
4725万円

◎交流学習センターの周辺を整備します
9306万円

北部火葬場が建設されます
1億153万円（豊丘村の負担金）

25年度で進入道路の建設や埋蔵文化財発掘作業が行われた、高森町吉田地区の北部共同火葬場も本年はいよいよ、本体工事と火葬炉設置工事が行われ、来年夏より供用開始となります。



改築される商工会館

採択された陳情は

- 介護保険制度見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度にするための意見書提出に関する陳情
- 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に関する陳情
- 雇用の安定を求める意見書提出に関する陳情
- 特定秘密保護法の廃止を求める陳情
- 集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する陳情

いる村道佐原線は、24年度、25年度で改良した箇所（林里）より東側（はやしの杜入口前後）の拡巾と歩道設置を行います。（延長150m）
国の交付金（補助率63%）を活用した事業で、河野新田横断線伐地区）も同交付金を受けて改良工事を行います。

子育て支援センターを整備します
1063万円

保健センター1階内を改修して、常設型の子育て支援センターとして整備します。
職員2名が常駐して



いよいよ始まった北部火葬場作業風景

議員の意志表示一覧表（全員賛成除く）															＜平成26年 3 月 第 1 回 定例会＞		○…賛成 ▼…反対	
	件名	審議結果	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	大原千賀子	片桐義憲	原健治	松村正三	片桐眞理子	川野孝子	片桐秀人	前沢光昭	唐澤啓六			
条 例	課設置条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼			
陳 情	特定秘密保護法の廃止を求める陳情	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○			
発 議	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改する条例の制定	否 決	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼			
意見書	特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○			

26年度当初予算の質疑から 宮ヶ瀬橋の先行着工が決まる ～河野・山吹間の新橋は後に～

懸案の天竜川架橋問題、結論はでたか

― 宮ヶ瀬橋が優先着手に ―

松下議員 長年の懸案である天竜川架橋問題は結論でたか。
産業建設課長 実は3月11日に飯田建設事務所から話がいった。結論は松川町の宮ヶ瀬橋を優先して架け替える。河野山吹間の新橋は河床が変動しているなどのため後回しにしたい」とのことであった。最終的には3月27日開催の北部地区道路問題研究会で決定される。
《3月27日北部地区道路問題研究会の結論》
宮ヶ瀬橋と河野山吹間の新橋の必要性を確認。建設順位は、老朽



先行着手される宮ヶ瀬橋

建物の全棟調査の結果はどうか

― 調査漏れは600件ほど ―

松下議員 税務係で進めてきた建物の全棟調査の結果は出たか。また、廃屋の状況はどうか。
財務会計課長 増築などで課税漏れとみられる家屋が約600棟ある。この処理が今後の課題。廃屋は、基準が明確でないが20〜30棟

6次産業化は163万円

― 母体の組織化と全体の素案を作る ―

松下議員 6次産業化事業では163万円を計上しているが、この予算で何を行うか。
産業建設課長 本年度はプロジェクトチームで全体の素案をつくる。これには、「だいち」や「かあちゃん」の店も加わる予定。これまで

では、林原地籍を中心として展望レストランや各種の農業体験施設などを建設するとしてきたが、これらは中長期的な計画の中に位置づける。短期的には竜東一貫道沿いに農産物直売所を兼ねた道の駅構想を実現させたい。

リフォーム助成金予算の復活を

― 増税後の様子みて復活も視野に ―

唐澤議員 これまで3年間実施してきたリフォーム助成金事業が廃止されるが、消費税が増税されるこの時期に何故止めてしまうのか。国は増税後の落ち込みを考えて新たに長期優良化リフォーム事業を制度化する。26年

新商品券の使用期間が短すぎる

― 高額なものは柔軟に対処する ―

大原議員 新しく商品券発行事業が始まるが概要の説明を。なお、使用期間が6カ月では短すぎるのでは。
産業建設課長 目的は村内の商店等で使える商品券を発行して商業を活性化すること。商品券は1枚1000円でプレミアムはなし。発行総額は500万円

に入れて考える。
片桐義憲議員 村長も復活に含みある発言をしている。4月以降の増税で職人さんがピンチになる恐れがある。適切に情勢判断して対応を願いたい。
総務課長 その点は希望があれば柔軟に考える。
原議員 商品券を使う村内事業所数は、

下水道料金システムの変更は

― 従量制について検討したい ―

片桐秀人議員 下水道料金は、現在の世帯数、従業員数での算定は不公平ではないか。ほとんどの市町村で行っている水道使用量を基準とした従量制にすべきではないか。
吉川議員 他市町村で



料金システムが論議（豊丘浄化センター）

も自家用井戸を使用している場合は別途メーターを取り付けて水道使用量に加算している。これにより不公平を解消している。簡易水道は26年度から3年計画で上水道に移行するので、この時期に従量制に移行すべきである。
村長 村民負担に直結した問題であり、つまでもこのままではよくないと考えている。料金審議会では「もう少し研究を」となっているが、基本的には従量制と考えているので、しっかりと検討したい。

一般質問 ズバリ 直言 村政を問う 9議員が質問

1番 吉川 明博 議員 (9ページ)

- ・安心の家について
- ・里山整備と竹林の再生事業について
- ・河野の地蔵道三島遺跡について
- ・一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例について

2番 川野 孝子 議員 (10ページ)

- ・介護予防と高齢者問題について
- ・結婚相談事業について

3番 片桐 秀人 議員 (11ページ)

- ・村長は秘密保護法に賛成か反対か
- ・健康福祉課の重点施策について

4番 酒井 浩文 議員 (12ページ)

- ・地域資源を活用した観光戦略について

5番 大原千賀子 議員 (13ページ)

- ・家庭用消火器の詰め替え、廃棄について
- ・職員による公用車の運転について

6番 片桐眞理子 議員 (14ページ)

- ・健康づくりの推進について
- ・介護予防の充実について

7番 唐澤 啓六 議員 (15ページ)

- ・集团的自衛権についての見解は
- ・リニア中央新幹線諸課題への対応は
- ・国保税、資産割の廃止を

8番 前沢 光昭 議員 (16ページ)

- ・自然エネルギーの取り組みは
- ・新図書館の運営について

9番 松下 亨 議員 (17ページ)

- ・地方自治の基本原則と実現策について
- ・社会教育活動の活性化策について

25年度補正予算の質疑から 6次産業化の当初計画を変更

6次産業化の現状と今後は

―当面は竜東一貫道沿いに直売所設置―

松下議員 6次産業化事業の母体となる法人設立などの進捗状況、今後の進め方は、産業建設課長 25年度は母体組織の設立を目指したが、結果的には至らなかった。新年度はNPO法人だいちを中心に設立できるように全力を尽くす。今後は、短期的には竜東一貫道沿いに農産物直売所や農家レストランを考えたい。長期的には当初

計画どおり林原一帯を考えていく。大原議員 6次産業化は「だんだん引いている」との声もある。委員の皆さんの情熱はどうか。産業建設課長 これまで商品開発や雑穀研究で熱気を帯び活発にやってきた。一方、プロジェクト全体では若干おさなりのなつた感もある。課題は「人」をどうするかだ。

小規模特養で起債を借りない理由は―独自の建設協力債等で見通しつく―

松村議員 林の杜で建設中の小規模特養の建設資金として、村が借り入れる予定になっていた3300万円のふるさと融資が借り入れ中止となったがその理由は何か。

住民課長 建設資金の3億8千万円の内、国等の補助金が2億1千800万円、残りについては林の杜で募集する建設協力債などで賄う見通しがついた。唐澤議員 この資金は

村が借り入れて林の杜へ無利子で融資するもの。村の借り入れに対する利息の75%は交付税措置のため有利だが、建設協力債などで見通しがついた。唐澤議員 自らつくる地域事業交付金が156万円追加され756万円になった。この交付内訳は、総務課長 今年度は13件の申請があった。内訳は自主防災関係が6件、里山・公園整備関係が3件、防災関係が1件、神輿・お囃子関係が3件となっている。



特養はやしの杜の広々とした個室

国保の医療費が減った理由は

―入院費用が予想を下回った―

川野議員 国保特別会計で保険給付費が35

00万円ほど減額となったが、この理由は、

住民課長 入院が比較的少なかったため高額医療費が減少したこと、この数字は1月段階の実績に基づく見込み。今後、前年度の精算が行われるので最終決算額は変わる可能性もある。



緊急一時預りの手だてはあるのか

答 ニーズを確認する中で検討する

川野孝子議員



質問 高齢者訪問の人的手当ては足りているのか。

村長 今年度訪問スタッフとして新たに看護師を1名増やして取り組む。

質問 介護認定されていない高齢者世帯での急な入院等で、特に男性がひとり残された場合の緊急一時預りの手だてはないのか。

住民課長 「きすなで」の緊急一時預りは可能だが事前の登録が必要となる。時間的余裕の無い本来の緊急事業は対応できないのが現状である。今後は自宅へ支援に入る生活支援ヘルパーのような制度の創設も考えていく必要がある。

質問 高齢者訪問の中で出される悩みや問題点等に対応されていると聞かがごみの分別、ごみ出しなどができないという状況はあるのか。

環境課長 ホームヘルパーが分別やごみの回収を行っているケースがある。社協のヘルパーが訪問介護の生活支援の利用の家庭から持ち帰って処理しているケースなどもある。今後は相談があれば対応を考えていきたい。

質問 ごみの分別は大



念願の「特養」ついにオープン

変な作業。広域で一定の基準で行っていると思うが分別方法の見直しは考えられないか。

環境課長 現段階では見直しは考えていない。平成29年稼働を目指している新焼却場については分別方法の一部の変更も考えられる。



積極的な「婚活事業」を望む

結婚相談事業の課題は

答 登録者の情報共有が必要

質問 平成21年から北部5ヶ町村で結婚相談所を共同設置することがスタートして5年を迎えている。この愛ねつと北部」の登録者数と結婚成立の件数は。

住民課長 登録者数は北部全体で222名、成立した件数は4件と

質問 「愛ねつと北部」と各自自治体の結婚相談事業の情報交換は。

住民課長 各町村の相談員も登録者の情報を共有する必要がある。今後は登録様式も含め仕組みを変えていけるよう準備をしている。

小学校の「安心の家」の運用は

答 より良い方法を考えていく

吉川明博議員



質問 管理と運用は。教委事務局長 十年以上前に始まった事業であり現在も実施をされている。小学校の関係通学路を中心に、北小学校で7軒、それから南小学校で15軒のお宅に協力をいただいている。目的は、小中学生を中心に女子などが事件や事故に巻き込まれないよう緊急避難場所とする。

お願いするお宅の選定については学校で行い、適当であるかについて飯田警察署の確認を得て看板と小さい旗が配布をされている。



この看板が目印です

産業建設課長 平成17年度にコムンズ支援金制度が始まり、現在の元気づくり支援金制度を活用、23年に小規模竹林整備事業として今年度で3年目。実績は23年度

里山整備と竹林の再生事業は

答 地域により進んでいる

北小学校では、4月の上旬の集団下校の日、地区担当の先生と子供がその「安心の家」に出向き、あいさつをし、校外指導部の安全マップ上に「安心の家」を明記し、通学路図にも掲載し年度初めに家庭に配布する。

課題は高齢化が進んでおり何かあっても対応する自信がないのを取り消したいということ。

と。

要望 頼りになるのは地域、行政からの絶え間ないお願いが大切、強く望む。

質問 教育委員会の再編成検討の最中、通学途上の子供の安全の責任はこの部署にあるのか方向があるか。

村長 将来に向けて可能性を探るが、より良い提案をいただき、考えて行きたい。

職員給与の減額割合は

答 3・1%減、820万円の削減

質問 9か月間の減額割合は。

総務課長 減額は昨年7月から今月まで全職員3・1%減、総額820万円。

質問 その財政的効果の評価は。村の財政困窮時であり大きな収入として、多くの施策に充当できたか。

総務課長 減額の使途は定めていない。国家公務員の特例減額に依り、総務大臣の要請に基づき減額をした措置で、普通交付税の減額分の補てん措置として行った。

(紙面の都合により質疑一部割愛)

14件1万9000㎡、24年度23件1万8千900㎡、今年は2月末で12件9千500㎡の整備。地域別では佐原、伴野、壬生沢地区内で進んでいる。

質問 次年度の予算の根拠となる促進施策と、本事業の障害となる課題などは。

産業建設課長 26年度の予算300万円の根拠となる促進施策も障害となる点も地域のコミュニティの助長、地域の景観形成を思うリーダーの存在が大切。

質問 豊丘村森林整備事業支援対策補助金交付要綱の対象者を、竹林所有者等整備を行う任意団体に広げることができないか。

村長 ちよつと一ひねり利かせてもらって、是非ともそういうことを積極的にやっていたきたい。

6次産業化構想のストーリーは

答 目標を持って、現実的に進める

酒井浩文議員



質問 リニア開業、三遠南信道開通を、地域振興に結び付ける活用構想の検討が活発化してきた。交流人口を増加させるためには、魅力ある環境と条件の整備が必要である。

村 では平成24年度から村長の肝いり事業として「豊丘まるごと6次産業の村づくり構想」を掲げ、計画が進められている。この事業は豊丘村の豊かな地域資源を活用した農林業の再生を基軸とした地域の活性化をテーマに、農業の再生とブランド化を目指す戦略的な観光プロジェクトであり、これからの豊丘村の発展のためには絶対に成功しなくてはならない事業である。リーダーである村長の、この事業にかける思いストーリーは。

村長 農業・農産品に付加価値を付け、加工や販売による収入を増

やすことで、元気な農業を再生し、日本の原風景を守り、豊丘村を活性化させたい。今年度は核となる組織づくりと、その足がかりとなる農産品や加工品の直売所や食事ができる「道の駅」構想をスタートする。同時に地域の立地やロケーションを都市部に発信するツーリズム事業や、企業の研究機関やサテライトオフィスなどの誘致も進めたい。この地域が必ずや暮らしても、遊びに来て、世界で一番という地域を目指して着実に進めていきたい。

質問 6次産業化成功のためには、事業の中心となるキーマンを発掘・育成し、村全体で盛り上げて、村内外に「豊丘村ファン」を増やすことが重要である。現在の6次産業化構想の進捗状況は。

産業建設課長 キー

マの存在が一番重要なポイントである。

現在 NPOだいち・かあちゃんの店を中核に、農家・農業法人・企業の皆さんが参画し、法人化に向けて関係者と検討している。また村の第5次総合振興計画にのっとり、広く住民の皆さんに参画していただくことをお願いしている。

質問 豊潤な交付金をあてにした事業展開は、将来の自立を考えた時、経営的感覚が育たない

質問 身近な地域資源をそのまま活用した特色ある事業として、保健養地としての環境整備・ハーブマラソン大会の開催・芝生の運動場整備といった、スポーツツーリズム事業を提案する。

村長 スポーツ・健康産業と絡めたものは、今後大きな将来性を感じている。具現化に向けて企画していきたい。

産業建設課長 6次産業化構想の中でも、活用できる資源の洗い出しを行っている。近隣

市町村の事例でも、知名度アップや観光面で大きな効果をもたらしている。宿泊場所の問題などもあるが、広域的な共同企画などにより実現可能である。



「道の駅」構想がスタートします

秘密保護法、村長は賛成か反対か

答 秘密情報保護、法整備必要

片桐秀人議員



質問 豊丘村議会は12月に秘密保護法反対の意見書を探択し、関係機関に送付したが、村長はこの法律に賛成か反対かストレートにお答え頂きたい。

村長 秘密保護法を語るには日本版NSC(国家安全保障会議)が必要である。日本が未来に向けて今までと同じように経済発展、平和

などを発信できる国としてのポテンシャルを持ち続けるためには、日本は今までのように丸裸のまんまでもいいのかと言うと、日本版NSCのようなものが必要。日本が国際的に信用されるためには、危機管理がきちんとでき方角を示せるための組織と情報力、知性が必要。そのためには国家

間の秘密情報を漏らしてはいけない。このため法整備が必要。国民の知る権利、言論の自由、それに国家の秘密も守る、この両方が大事。それをいかに整合をつけるかだと思う。

「健康福祉課」にかける思いは
答 特化した施策を実行する

質問 4月から発足する健康福祉課についてどのような抱負を持っているか。

村長 健康福祉にしっかりと特化した施策、それから実行をしていきたいと思っている。

住民課長 保健医療、高齢者介護福祉、障害福祉の3本柱を中心に施策を行っていく。この3本柱を中心に連携、一体化して村民の暮らしを支えるために「地域包括ケア体制」を目指していきたい。

質問 国は社会保障国

として、第6期の制度改正を目指している。この改正で要支援1、2をなくし市町村に委ねるとしている。本村ではどのように対応していく予定か。

住民課長 要支援者を介護保険から切り離し市町村が対応することになっている。豊丘村としてはリハビリ体操の第2次予防教室とかショート、デイサービス、入浴サービス、これらを実施することで予防給付廃止後の予防の受け皿作りをした

特定秘密保護法に関する意見書を可決した県内議会

【廃止を求める】(計16市町村、9市町村追加)
中野市、佐久市、小海町、長和町、下諏訪町、富士見町、中川村、阿智村、豊丘村、木祖村、生坂村、山形村、小布施町、木島平村、飯綱町、小川村
【制定に反対】(7町村)
小海町、立科町、箕輪町、豊丘村、坂城町、高山村、飯綱町
【見直し・修正を求める】(4町村)
南箕輪村、木曽町、木祖村、山ノ内町
【慎重・適正な運用や対応を求める】(県と25市町村、5市町村追加)
県、長野市、松本市、上田市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、大町市、飯山市、茅野市、千曲市、東御市、安曇野市、原村、辰野町、飯島町、高森町、松川町、下條村、大鹿村、上松町、山形村、池田町、松川村、白馬村、栄村
【国民に十分な説明を求める】(2市村)
岡谷市、野沢温泉村
【法案の慎重な審議・対応(継続審議含む)を求める】(7市町村)
飯田市、須坂市、飯山市、南牧村、青木村、下諏訪町、奥木村

(注)ゴシック体は昨年12月21日以降に議決した議会。あらためて議決した議会もある

(信濃毎日新聞より引用)
県内16議会が反対意見書を可決



住民課から健康福祉課へ

地域ぐるみの健康づくり、進捗は

答 地区の状況把握から始める

片桐眞理子議員



地域密着の介護予防事業

質問 健康推進委員の選出には各自治会で大変ご苦労があったと聞いているが現在の進捗はどうか。

住民課長 ご苦労をいただいている中、56名が選出されている。今後、一年かけて健診状況、介護保険利用状況など、各自治会ごとに学習会を開催していく。要望 委員の皆さんが

健康マイレージの導入は考えていない

質問 健康マイレージとは健康づくりを進める新しい取り組みで各市町村が決めた健康づくりのメニュー（健診や介護予防、スポーツ

心配なく取り組めるよう適切なアドバイスをお願いします。

願う。息の長い取り組みにして頂きたい。

活動など）を行うことを条件に特典をうけられる制度である。ポイントのため、それが地域の商店で使えたり、保育園や小中学校にポイントを寄付して活用できるなど、健康と共に地域活性化にもつなげる事ができるユニークな施策である。この制度の導入はどうか。

住民課長 村では疾病の予防につながる受診勧奨や保健指導を通して、一人ひとりが健康に関する意識向上するような支援に力を注いでいきたいと思っているので、健康マイレージの導入は考えていない。

介護サービスの更なる充実を具体的な検討をしていく

質問 介護状態になっても住みながら地域や自宅で最期まで暮らしている事ができるような、一体的に提供される地域包括ケアシステムが提案されている。地域の特性に応じてということであるが、24時間対応定期巡回、随時対応型訪問介護等のサービスなどの取り組み状況、課題についてどのように考えているか。

住民課長 24時間対応定期巡回等を行っている介護保険事業者は、この地域にはないので現実では困難である。村としても地域包括ケアシステムの構築に向けて、第6期の介護保険事業計画に反映させていきたい。今後ニーズ調査をもとに具体的な検討をしていく。



介護利用者の送迎のようす

点検後の消火器の回収は

答 各家庭で業者に対応してもらう

大原千賀子議員



古い消火器は業者に回収してもらいましょう

質問 消防団の日頃のご苦労には、感謝している。春秋の査察に来てくれるが消火器の回収をしなくなった理由。詰め替えが必要な消火器がどの位あるか、村では把握しているか。高齢者や一人暮らしの方々は困っていると思う。村で回収日を決めて業者に回収してもらう事はできないか。各家庭ではどうすればよいのか。

総務課長 以前は点検を兼ねて詰め替えや期

限切れの消火器は回収をしたが、団員減少により負担が多くなり回収をしていない。詰め替えの必要が何本あるか村では把握していない。ホームセンターでも詰め替えや廃棄できるので、各家庭で対応願いたい。

要望 消火器の使い方も分からない方もいると思うので、村でもCATV等で周知願いたい。

職員のマイクロバスの運転を委託に答 全て委託にはできない

質問 去年今年と職員の公用車での事故が多い。臨時議会でも、問題になったが、その後の対応策をとられているか。マイクロバスの運転は本来業務なのか。喬木村、高森町はマイクロバスは業者に委託している。村は予算で委託料を計上しているのに職員が運転している。大きい車は負担が多いと思う。安全運転のためにも委託してはどうか。

副村長 マイクロバスの運転は本来業務ではないが、担当課の時は運転することがある。予算も限ら

れているため全て委託は出来ない。関東豊丘会、中学の部活等、遠出の時は業者に委託している。

質問 獅子頭のラッピングバスはなぜ作ったか。金額、利用方法は。

総務課長 豊丘村をPRしようと、庁内で検討し、村内は神社が多いのでその獅子頭をラッピングした。費用は100万円。県外視察等に積極的に使っていく。



注目度抜群の「獅子バス」

新図書館の運営は

答 多くの人が親しめる図書館に

前沢光昭議員



質問 村民が待ち望んだ新図書館が7月にオープンする。図書館運営の3要素と言われる①建物 ②人 ③蔵書(資料)面から、建物は新築なのでともかくこれから図書館運営をどのようにしていくのか。人とは司書が利用者とどうかかわる

か、相談に乗ったり、必要な本を探したり、信頼される司書が必要。蔵書は収納冊数ばかりでなく、大事な資料の保存も図書館の役割だが、どのように考えているか。

また小中学校との連携面はどう考えるか、連携のためにネット



整いつつある新図書館

質問 国では温暖化対策として自然エネルギーを推進、県では一村一自然エネルギーのプロジェクトで様々な取り組みが進められている。豊丘村は新年度予算で残念ながら太陽光発電設置補助金が割当たり5万円から4万円に引き下げられた。公共施設では小中学校やスポーツ館などの屋根に設置されているが他の公共施設についてはどう考えるか。

自然エネルギーの取り組みの現状は

答 公共施設は設置済み

質問 国では温暖化対策として自然エネルギーを推進、県では一村一自然エネルギーのプロ

ワークの管理も必要だと思うか。

教育長 現在ある蔵書、資料は大事にしてそのまま新図書館に移行する。5月16日午後に半日かけて中学生に運搬してもらう。蔵書

数は5万冊、DVDはわずか。資料は貴重なものがあるので地下の閉架倉庫に収める。学校図書館では司書に代わる人が切り盛りしてくれている。現在でも連携している。

役場庁舎は屋根の形状もあり経費がかかってしまうことがあり設置には適さない。

質問 今後の施設は。村長 給食センターに可能なら設置したい。



スポーツ館の太陽光発電

リニア残土処分は、下流域の安全と理解を

答 下流域の理解と許可を得ることが必要

唐澤啓六議員



質問 リニア新幹線工事によるトンネル掘削残土の処分地として、村は県の残土処理ワーキンググループに具体的な候補地を提案した。候補地の場所、地形、処分容量、下流域はどこか、また、下流域住民の安全を守る点から理解をどう求めているのか。

総務課長 村内の排出量225万m³を村外に持ち出すことなく、村内で全量処分するという観点から県ワーキンググループへ報告した。一ヶ所で全量処分可能な場としては、伴野・王生沢・福島3区の本山更生会の山林で蛇川流域である。

村長 処分地を決める話を進める中で、下流域の理解を求め許可を得ることは必要と考え



残土の行方は？

質問 豊かな自然と静かな環境を求めて生活している方々の中には、「リニアの工事が始まれば本当に困る、この地を離れる。」と言っている方々もいる。そのような皆さんの不安の声にどう応えるか。

村長 工事が始まれば、JR東海及び施工業者と住民の間に入って、皆様の不安を取り除き安心していただくのが行政の仕事だと思う。

質問 昨年の第3回定例会においてこの件で質問した際、村長は「国保広域化の流れもあり、その動きを見ながら対応したい。」と答弁した。26年度の国保税は、小幅なアップか、据え置きも可能であり、このような年に構成割合の見直しを行うこと

集团的自衛権をどう考える

答 明らかな判断は下せない

質問 阿部首相は、憲法解釈の変更によって集团的自衛権行使が可能という、立憲主義に反する極めて危険かつ異常な言動を続けている。現在の平和憲法下における集团的自衛権についての村長の見解は。

村長 現在勉強中であり、明らかなにどちらという判断を下してはいない。集团的自衛権や自衛隊の問題は憲法解釈によってなされておき、立憲主義を逸脱しているとは考えていない。



早期発見・治療で医療費を下げましょう

国保税資産割課税の廃止を

答 廃止は考えていない

質問 昨年の第3回定例会においてこの件で質問した際、村長は「国保広域化の流れもあり、その動きを見ながら対応したい。」と答弁した。26年度の国保税は、小幅なアップか、据え置きも可能であり、このような年に構成割合の見直しを行うこと

リニア特別委員会

3月20日、阿部長野県知事は環境影響評価準備書に対する「知事意見」をJR東海に提出しました。県環境影響調査技術委員会がまとめた50項目に、豊丘村を含めた関係市町村等から出された9項目と前文を追加した59項目となり、本年1月に村が提出した知事への意見書の要望内容も反映されました。

また県はアセス法に基づき知事意見とは別に、法手続き以外の要望事項として10項目の「リニア整備に対する意見および、19項目の「県環境部長の指摘事項」

「JR東海に知事意見提出

関係市町村からの意見を反映

環境と住民への負担の軽減が課題 ・・・リニア特別委員会の活動報告・・・

リニア特別委員長 酒井 浩 文

を提出し、環境基準の適合だけでなく、長野県其自然環境を悪化させない「ベスト追求型」のアセス実施を求めました。

今後JR東海は、沿線7都道府県からの知事意見を反映させて準備書を修正し、4月をめどに評価書を作成す。

村独自の水文調査

今年度も継続実施

今議会では、新年度のリニア対策関連事業の予算として、水文調査委託料396万円を可決しました。

昨年度に引き続き、リニア建設工事に伴う影響が懸念される水環境の調査を、村内4地区（佐原・伴野・福

島・壬生沢）の表流水45か所と地下水30か所で継続実施します。また水文調査箇所は限定されるため、住民の皆様におきまして、お住まいの地域を流れる河川や湧水、井戸など

これまでの特別委員会の主な内容

の着工前の水の状況に注視していただき、着工後の状況変化と対比できるデータの蓄積（写真、数値等の証拠があると良い）を今からお願いたいと思います。

第11回（1月28日）
①環境保全の見地から知事への意見書を検討し1月9日に提出。
②25年度中の水文調査は、表流水調査を1月と3月に計2回、村内45か所を実施。
地下水調査は仕様書を作成中で、完成後業者に調査を発注する計画。

第12回（2月26日）

①環境影響評価技術委員会の審議の進捗状況について。②県リニア活用基本構想（案）について。③1月の水文調査の様子について。

④村と区長会が同調した対策委員会設置を検討。⑤村内発生土（220万㎡）の処理は、候補地1か所対応できる見込みと、発生土処理問題のワーキンググループへ報告。発生土処理場所は村内に3候補地がある。（本山・伴野原・北垣外）

第13回（3月20日）

①環境評価技術委員会の意見が3月9日に知事に提出された。②水文調査は新年度も追跡調査を継続実施。調査委託料を予算計上。

「地方自治の本旨」をどう理解するか

答 住民の福祉向上に尽す義務と考える

松下 亨 議員



村民の交流拠点がついに完成

質問 地方自治の基本原則と実現策について質問する。①憲法92条で規定している「地方自治の本旨」はどう理解するか。②昨年6月議会で、「役場と住民

の関係は企業と顧客との関係と同じ」と答弁があったが、私は違うと考える。理由は、理事者・議員は住民の選挙で決まるなど民間企業とはまったく違う。あ

の発言を撤回または修正する考えはないか。③住民による自主的な村づくり組織の立ち上げ策は。阿智村では53の団体、889人もの人たちが熱心に村づくり活動に取り組んでいる。村長 ①「地方自治の本旨」とは、憲法92条から94条に書いてあるとおりと理解する。国から負託を受けて住民の福祉向上に全力を尽くす義務だと考える。②企業と役場の関係はまったく同じではないことは分かっている。が、そういう気持ちが大事故なことであり、撤回するつもりはない。③阿智村のようなきちりとした組織はないが、村内にはいくつもの村づくり組織が存在している。また、特別に困ったこともない。今後、個別の必要性が出てきたら後押しをしていきたい。

話し合い形式の集会を開催しないか

答 新しい施設ができるので開催したい

質問 社会教育活動の現状評価と活性化策について伺う。①社会教育活動の現状をどう自己評価しているか。中核となる公民館活動は、趣味やレクリエーション、スポーツ活動が多く、生活上の課題や地域の課題などの学習活動が少ないのではないか。②村づくりに繋がる人材育成も社会教育の重要な柱と考える。こうした活動は、例えば、社会教育研究会とか公民館研究会など話し合い形式の集会が必要になる。こしばらくこのような集会が開かれていない。今後、開催する計画はないか。③間もなく新しい社会教育施設が完成する。開館後の利用者数や図書館の貸出冊数などの目標数は。

教育長 ①社会教育の中核をなす公民館活動は非常に活発に行われている。ただ、課題もたくさんあることは承知している。教委事務局長 ①指摘のようにスポーツ・イベント等が多いことも事実。むらづくりに繋がる学習会など興味がない事業には参加しない傾向はある。②新しい教育施設が完成するので、これを契機に話し合い形式の活動も開催していきたい。③新教育施設の利用者数は、これまでの50%増の1万5千人を、新図書館の利用者数は40%増の2万人を、貸出冊数は35%増の7万冊を目指している。

委員会

社会文教委員会

だより

総務産建委員会

TPPなど陳情4件採択

総務産建委員長 松村 正 三

総務産建委員会では定例会において付託された陳情4件、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉に関する陳情・雇用の安定を求める意見書提出に関する陳情・「特定秘密保護法」の廃止を求める陳情・集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する陳情について、3月11日、1日をかけて慎重に審査を行った結果、いずれも採択とし、政府及び関係機関へ意見書を提出することとしました。

「TPP交渉に関する意見書」では、今この交渉が重要な局面を向えていることから、衆参農林水産委員会決議や自民党決議を必ず実現すること、情報開示を徹底することを強く要請しました。

「雇用の安定



TPP交渉の一つさとうきびの収穫

を求める意見書」では、政府が世界トップレベルの雇用環境を実現し、産業競争力を強化することとし、新たな日本的就業システムを目標としていることから、労働者を保護するルールの一層の推進や雇用の安定を図ることの重要性を重んじ、そのために施策や対応を要請しました。「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書」では、法案に対する国会審議は不充分であったという点では、委員一致の考えであると感じ取れました。

しかし、「廃止」ということを考えた時、委員各々の考え方や思いが真意という点で違いがあったと言えます。

結論を出せないまま、採択、不採択、部分採択、継続審査含めて議論した末、意見を出し尽くしたとの判断し採決の結果、採択とし、意見書は「廃止を求める」としました。

この「廃止」には、「完全廃止」と「一旦廃止」の2つの意見が含まれていました。

「集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する意見書」では、憲法の精神、従前の政府見解を重視し、判断をしました。

今回の審査では、時間をかけ、意見交換や議論を十分に尽したと思っています。



沖縄に配備された米軍機オスプレイ

保育園・子育て支援を教委へ

社会文教委員長 片桐 義 憲

3月定例会では、条例案件7件、陳情1件が当委員会に付託され、また、26年度予算案について所管する分野の審査を行いました。

経過は次のとおりです。

健康福祉課へ賛成多数で可決

課設置条例改正の原案は、保育所・子育て支援を教育委員会所管業務にするもので、乳幼児から中学生までの子育て支援を、教育委員会が一貫した体制で行うこととなります。就学指導や相談も今まで以上の成果が期待されます。また、保育園では、保護者の学習面に対してのニーズも高まっていることから、今後の取り組みに大きな期待がかかります。

委員からは、村民の健康増進や、福祉施設の充実をより進めなければいけないとの観点から、健康、福祉に限っての専門部署の位置付けが必要である。といった賛成意見が多数を占めました。

一方保育行政は、本来福祉の分野であり、教育サイドでは、支援や対応について不安があり、現行が最良である、との反対意見もありました。担当の変更などは今後住民への周



開館待たれる交流学習センターのホール

知の徹底が必要であり、トラブル発生がないように村へ要請し、委員会では賛成5、反対1で可決しました。

なお、全ての審査結果は次のとおりです。

●課設置条例の一部を改正する条例の制定について。

（賛成多数可決）

●豊丘村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について。

（全会一致可決）

●豊丘村後期高齢者医療に関する条例の制定について。

（全会一致可決）

●豊丘村勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について。

（全会一致可決）

●保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について。

（全会一致可決）

●豊丘村図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について。

（全会一致可決）

●介護保険制度見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度にするための意見書提出に関する陳情。（全会一致採択。国への意見書提出をしました）

視 察 研 修 報 告

沖 縄 班



辺野古移設反対団体から話しを伺う

議員による視察研修の第3班は原議員を班長に、松村議員・片桐秀人議員・片桐義憲議員・井原議員の5人で豪雪の翌日2月17日から3日間の予定で沖縄を訪ねました。視察目的は、沖縄の基地問題で、本土におけるマスコミ報道に対して、実

**基地問題でゆれる
普天間・辺野古を訪ねて**

際、沖縄の思いはどの様なのか、自分達の目と耳で感じる視察としました。初日は沖縄県の産業で50%を占めている黒糖の製造工場を視察し、今が収穫期で多くの農家がこの産業にかかわっていることを知りました。18日は早朝より今回特に関心

のあった名護市の辺野古崎を訪ねました。辺野古崎の海は、一言では伝えられないくらい自然豊かな場所でした。現地では約10年の間テントを張り、座り込みの反対活動をしている団体に話を伺い、基地移設は数年前からすでに米国と政府とで密約があり、目的は辺野古崎の海を利用した軍港基地とするとの話を伺いました。関係資料を拝見するなか、体を張って活動する人たちの思いを強く感じてきました。

**基地面積が83%の
嘉手納町**

辺野古を離れ戦跡嘉数(かす)高台公園展望台から普天間飛行場を眺めたあと、反対者の思いを脳裏に、嘉手納町役場を訪ねて議会の方々に話を伺いました。嘉手納町は基地の面積が83%を占め、1



嘉手納町議会議員から説明を受ける

万4千人の住民は僅か17%の地で生活しており、基地返還については住民も議会も同じだが、代替地がないため、まだ方向が見えないそうです。

最終日は平和祈念公園と、ひめゆり平和祈念資料館を訪ね、信濃之塔に献花をして、世界平和を祈ってききました。資料館では、ひめゆり学徒隊の生存者に話を

岩 手 班



深澤晟雄資料館にて

**日本初の老人医療費無料化
西和賀町を訪ねて**

平成17年旧沢内村と湯田町の合併により現在の町に。視察テーマは昭和35年に日本で初めて老人医療費無料化を行い、また、同年には当時乳児死亡率の高かった旧沢内村の死亡ゼロを達成。その後も

保健衛生活動の先進的な活動を進め全国に広めていった活動が現在のどのような状況かを視察しました。

当時日本で初めて老人医療費10割給付を行った時の村長、深澤晟雄(まさお)村長の話

2日目の11月21日は自然エネルギーの取り組みを学ぶため葛巻町の視察を行いました。人口は豊丘村とほぼ同じくらい、面積は約6倍近くあり、東北一の酪農の郷といわれるだけあって原野、山林が延々と続いていました。このような地域性、町の資源を最大限に生かして、風力や太陽光などを天のめぐみ、家畜、ふん尿、水力などを地のめぐみ、豊かな風土文化を守り育てるなどを人のめぐみ、こ

**電力自給率160%の町
葛巻町を訪ねて**

れらを基本理念として取り組んでいます。ゼロエネルギー住宅、木質バイオガス化発電、畜ふんバイオガスプラ



畜ふんバイオマスプラントのガスタンク

は映画化され、本にもなっています。それまで当時の沢内村では典型的な無医村で乳児死亡率が非常に高く、冬場は雪に阻まれ交通の便も悪く深刻な生活状況があったが、行政で保健衛生活動に力を入

れ、保健師を大幅に増やしました。さらに当時の老人医療費を無料にすることによって医者にかかることを勧め、その後合併はしたが、西和賀町へも伝統的な保健衛生活動は引き継がれています。

今、自然エネルギーへの関心、原子力発電の在り方が問われている中、自然エネルギー普及のための、様々な試みはこれからの大事な分野になると思います。何もない所からの出発でしたが長い年月をかけて、ここまでたどり着いたことに東北魂の力強さを感じました。

みんなの



ー



シリーズ

私ががんばっています



浅井真希
(中芝)

3年前に豊丘村に来ました。少しでも村民の皆さんのお役に立てればと思い、英語とヨガを教えさせていただいています。子ども英語教室は、去年の3月よりだんきゅうハウスで未就園児を担当してきました。教え始めたころは、この年令の子達は何ができるだろう、色や形がわかるかな、数が数えられるかな、と手探り状態でした。子ども達も初めは慣れない様子でしたが、今では歌が歌えるようになり、お天気がわかるようになり、単語もたくさん言えるようになりました。また、お母さん達の協力のお陰で、スムーズに教室を進めることができました。この1年でお子さん達は見えるようになって成長し、私自身も多くのことを勉強させていただきました。保育園に行っても何らかの形で

英語を続けていって欲しいと願っております。

子ども英語教室と ヨガ教室を通して

私がもうひとつ担当しているのは、ヨガ教室です。平日の夜の教室にも関わらず、皆さん続けてくださっています。また、夏の暑い日でも、冬の家から入るのが億劫な時期でも、頑張っているのが億劫な時期でも、頑張っている方々には頭が下がります。ヨガ教室の中では、リラックスでき、固くなった体をほぐすポーズを取り入れています。終わる頃には心と体がスッキリ、気持ちよく帰ることができきます。根気よく続けている方達はとても上手にポーズがとれるようになっています。

これからも豊丘村の皆さんと明るく楽しく過ごしていければと思っていますので、どうぞよろしく願います。

編集後記

◎日常生活における新年は1月1日であるが、行政の新年は4月1日である。新年を迎える気持は高揚するものだが、今年は少し違う。消費税が8%に増税され、今後の生活を考えると暗い気分になる。

せめて、気象災害がなく本年の豊作を願うところである。

◎議員の任期も残すところ1年となった。残された1年間、村民皆さんの期待に応えられる活動に全力を傾注したい。

「語る会」の実施、議会基本条例の制定、そして議会だよりの充実：新たな気持でがんばりたい。(唐澤 記)

議 委 副 委 委 委	発行責任者		久 豊
	編集委員会		亨 子
	委員長	松 下	浩 賀
	副委員長	酒 井	千 明
	委員	大 吉	博 啓
	委員	唐 澤	